

子供の自主性を育み、
家庭学習の習慣化を図る

家庭学習の手引き

小学生版



“七ツ森の賦” (日下 常由 作)

大和町教育委員会

かていがくしゅうの すすめかた



めあて

じかんとをきめて まいにち べんきょうする

じかんのめやす

20～30ぷん

じゅんび

べんきょうをはじめるまえに

- ☆ がっこうから もらったプリントを おうちの人に わたします。
- ☆ べんきょうを するときには テレビを けします。
- ☆ つくえの うえを かたづけます。

しゅくだい

しゅくだいのしかた

- ☆ れんらくちょうや かていがくしゅうカードを みながら きょうの しゅくだいを たしかめます。
- ☆ わからないときは おうちのひとに ききます。
- ☆ おわったら おうちのひとに みてもらいます。

チャレンジ

チャレンジ（じかんがあるときは）

- ☆ じぶんで やってみたい べんきょうをします。
- ☆ すきなことにも にがてなことにも チャレンジします。

あしたの じゅんび

- ☆ じかんのわりをみて あしたのよういを します。
- ☆ えんぴつを けずります。
- ☆ しゅくだいと あしたのよういを ランドセルに 入れます。
- ☆ ハンカチや ティッシュなど いつも もっていくものも 入れます。

保護者の方へ ー学習のポイントー

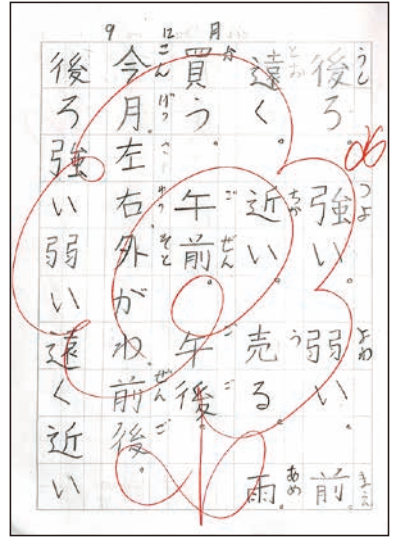
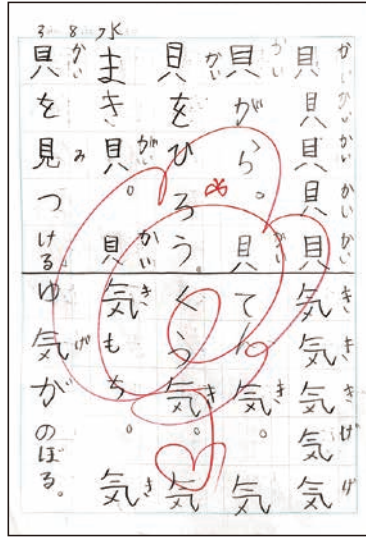
「基本的な学習習慣を身に付けさせましょう」

- 「早寝・早起き」「食事や睡眠をしっかり取る」「整理整頓や正しい姿勢」などの基本的な生活習慣が土台となります。
- 「よくできたね!」「がんばったね!」などのほめる言葉が次への学習意欲を生みます。
- 「決まった時間、決まった場所で勉強に取り組む」などの習慣付けが大切です。
- 「テレビを消す」など家族ぐるみで学習環境づくりに努めることも大切です。

かていがくしゅうの ないようや ほうほう

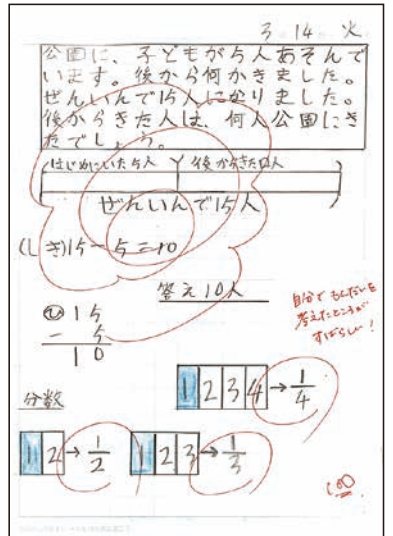
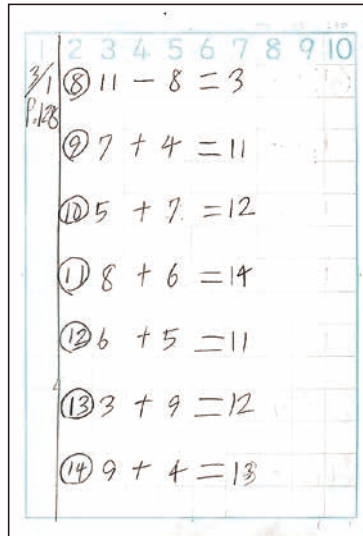
こくご

- ◎よむ おおきなこえではっきりよむ。
「、」や「。」にきをつけてよむ。
すらすらよめるまでれんしゅうする。
- ◎かく ていねいにかく。
えんぴつのもちかたに きをつけて。
よいしせいで。
・ひらがな、かたかな、かんじ
・につき・さくぶん・ぶんをうつす



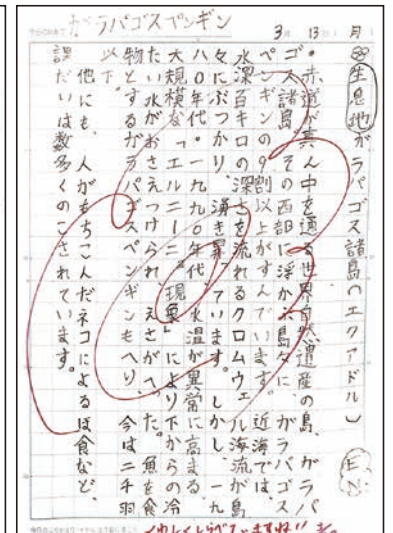
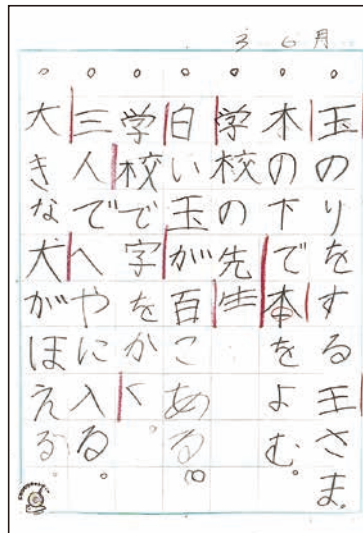
さんすう

- ◎けいさん けいさんのしきやこたえをていねいにかく。
- ◎もんだい さいごまでよんで かんがえる。
しき、けいさん、こたえをかく。
まちがったところをなおす。
・たしざん ・ひきざん
・かけざん九九(2年生)
・いまべんきょうしているもんだい
・まちがったもんだい



チャレンジ

- きょうかしよを うつつ
- いきものの かんさつきろく
- しょくぶつの かんさつきろく
- じてんで しらべる
- ずかんで しらべる
- じぶんで もんだいをつくる
- ドリルを する
- じょうぎを つかう れんしゅう





めあて

自分からすすんで毎日勉強する

時間のめやす

40～50分

じゅん び
準備

勉強をはじめるまえに

- ☆ 学校からもらったプリントを、おうちの人にわたします。
- ☆ 勉強をするときは、テレビをけします。
- ☆ つくえの上をかたづけます。

しゅく だい
宿題

宿題のしかた

- ☆ れんらくちょう連絡帳や家庭学習カードを見て、今日の宿題をたしかめます。
- ☆ 分からない時は、じてん辞典で調べたり、おうちの人に聞いたりします。
- ☆ 終わったら、おうちの人に見てもらいます。

チャレンジ

チャレンジ（時間があるときします）

- ☆ 自分でやってみたい勉強をします。
- ☆ 好きなことにも、苦手なことにも、チャレンジします。
- ☆ 自分で調べたり、かんさつしたりします。

じゅん び
明日の準備

- ☆ 時間割とメモを見て、明日のよういをします。
- ☆ えんぴつを3、4本けずります。
- ☆ 宿題、自主学習ノート、明日のようい、筆入れなどをランドセルに入れます。
- ☆ ハンカチ、ティッシュ、名札などいつも持っていくものも入れます。

保護者の方へ —学習のポイント—

「自ら学習に向かう習慣を身に付けさせましょう」

- 「早寝・早起き」「食事や睡眠をしっかりとる」「整理整頓や正しい姿勢」などの基本的な生活習慣が土台となります。
- 家庭での手伝いも加えて、責任をもって行ったことや進んで取り組んだことなど「できたこと」に対して大いにほめることが次への学習意欲を生みます。
- 「テレビを消す」「決まった時間に決まった場所で勉強に取り組む」習慣付けと学習環境づくりが大事です。

家庭学習の内容や方法

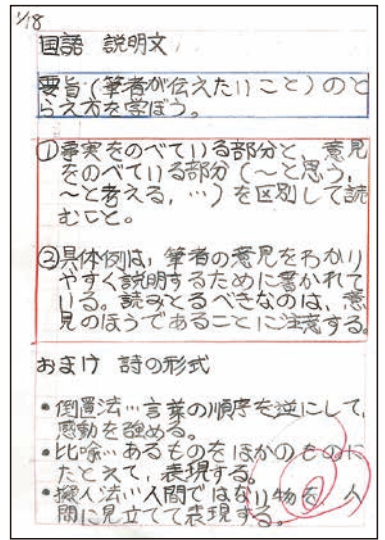
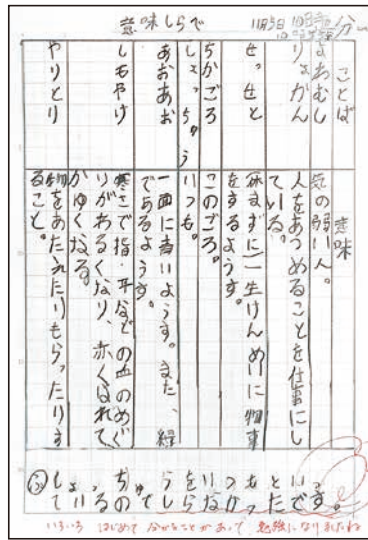
国語

◎読む

大きな声ではっきり読む。
「、」や「。」に気をつけて読む。
すらすら読めるまで毎日練習する。

◎書く

ていねいに書く。
・漢字練習
・意味調べ
・作文



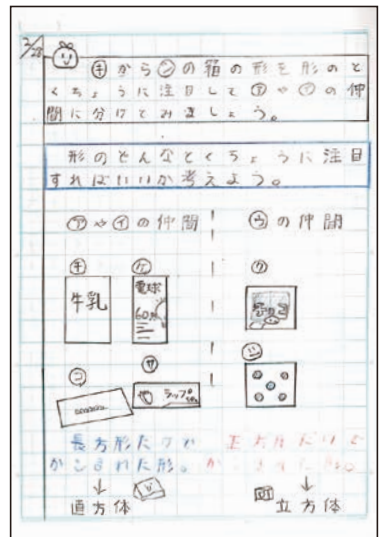
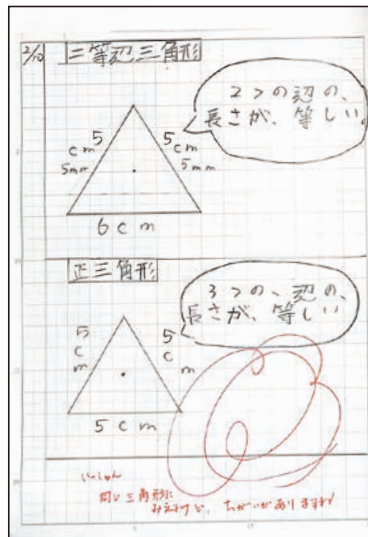
算数

◎計算

計算の式や筆算もていねいに書く。

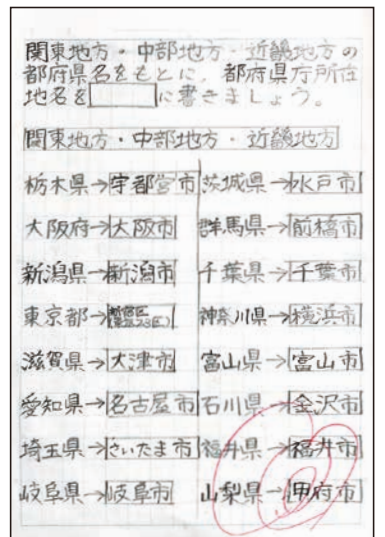
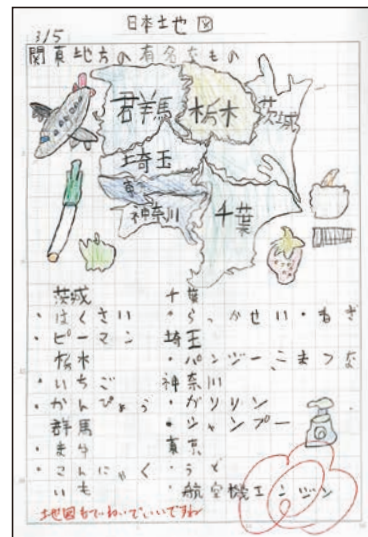
◎問題

問題を最後まで読む。
式、計算、答えまで書く。
まちがった問題はできるまで考える。
・たし算・ひき算・かけ算・わり算
・今習っている問題
・今までにまちがった問題



チャレンジ

- ローマ字のれんしゅう
- 新聞記事のスクラップ
(気に入った記事をえらんでノートにはる)
- じゅぎょうのふくしゅう
(もういちどノートにまとめる)
- じゅぎょうのよしゅう
- 生き物や植物のかんさつきろく
- 月や星のかんさつきろく
- 事典や図かんで調べる
- 地図で調べる
- 県名を書いておぼえる
- ドリルをする





めあて

自分で予定を立て、計画的に勉強する

時間のめやす

60～70分

準備

勉強を始める前に

- ☆ 学校からもらったお便りやプリントを、家の人に渡します。
- ☆ 勉強をするときは、テレビを消します。
- ☆ 机の上を片付け、鉛筆、赤青鉛筆、定規を準備します。
- ☆ 辞典、資料集、参考図書なども準備します。

宿題

宿題の仕方

- ☆ 今日の宿題を確認します。図や筆算などは定規を使います。
- ☆ 分からない時は教科書や辞典、資料集を使って調べます。
- ☆ 終わったら家の人からカードなどに印やサインをもらいます。

チャレンジ

チャレンジの仕方

- ☆ もっと調べたいことや、苦手なことにもチャレンジします。
- ☆ 今日の日付と、取り組む教科名を書きます。
- ☆ 大事な部分は、色を付けたり、アンダーラインを引いたりします。
- ☆ 次の課題や、学習したことの感想を書きます。

明日の準備

- ☆ 時間割とメモを見ながら、明日の準備物をそろえます。
- ☆ 鉛筆を数本削って、筆入れに入れます。
- ☆ 宿題、自主学習ノート、明日の用意、筆入れなどをランドセルに入れます。
- ☆ ハンカチ、ティッシュ、名札を準備します。

保護者の方へ ー学習のポイントー

「予定を立て、自分の力で学習を進める習慣を身に付けさせましょう」

- 「早寝・早起き」「食事や睡眠をしっかり取る」「整理整頓や正しい姿勢」などの基本的な生活習慣が土台となります。
- 「テレビを消す」「決まった時間に決まった場所で勉強に取り組む」などの習慣付けと学習環境づくりが大切です。
- 塾や習い事がある場合は、その日の予定をきちんと立て、計画的な学習ができるよう時間を意識させる工夫と親子での話し合いが大切です。

家庭学習の内容や方法

国語

◎読む

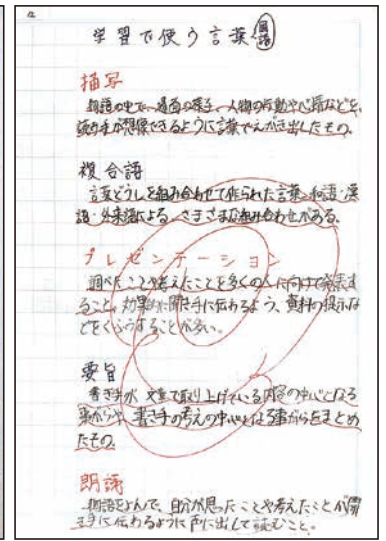
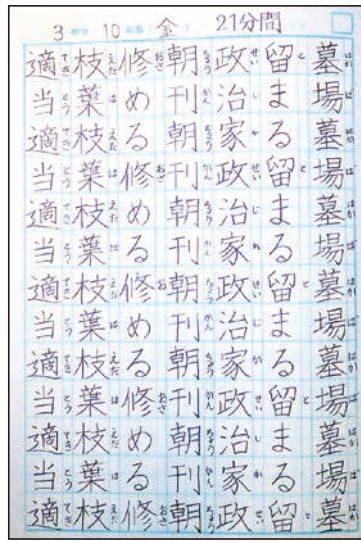
大きな声ではっきり読む。
「、」や「。」に気をつけて読む。
すらすら読めるまで毎日練習する。

- ・音読
- ・朗読
- ・暗唱

◎書く

丁寧に書く。

- ・漢字練習
- ・作文
- ・視写
- ・意味調べ
- ・日記
- ・熟語
- ・ことわざ
- ・創作（物語、詩、俳句、短歌）



算数

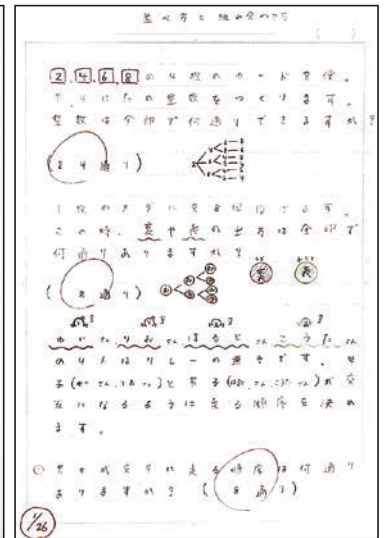
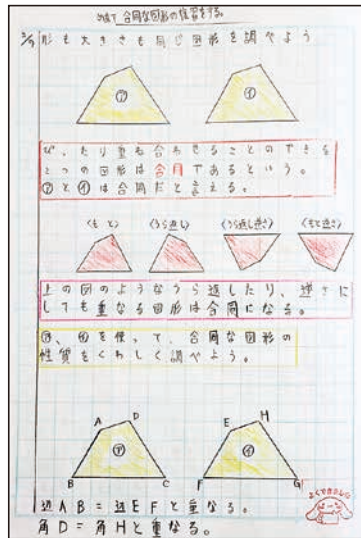
◎計算

計算の式や筆算もていねいに書く。

◎問題

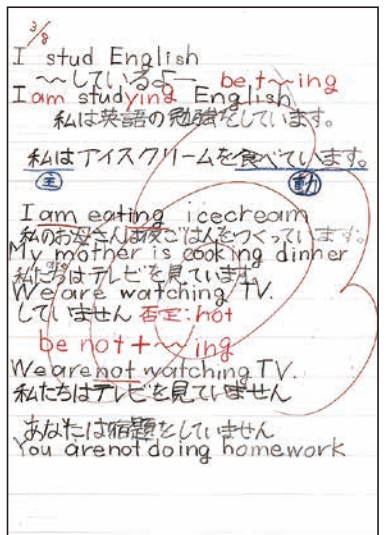
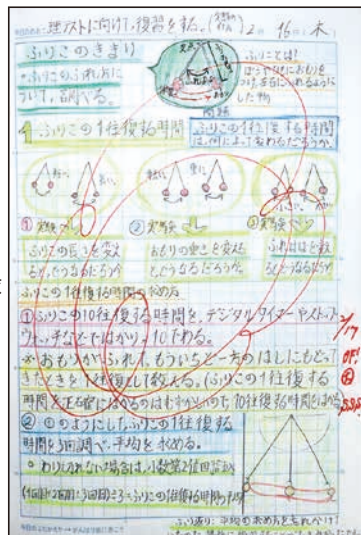
問題をよく読む。
今までに習ったことを活用する。
式、計算、答え、単位まで書く。
間違った問題にも根気強く取り組む。

- ・四則計算（整数・分数・小数）
- ・今習っている問題
- ・間違った問題や苦手な問題
- ・グラフ
- ・図形



チャレンジ

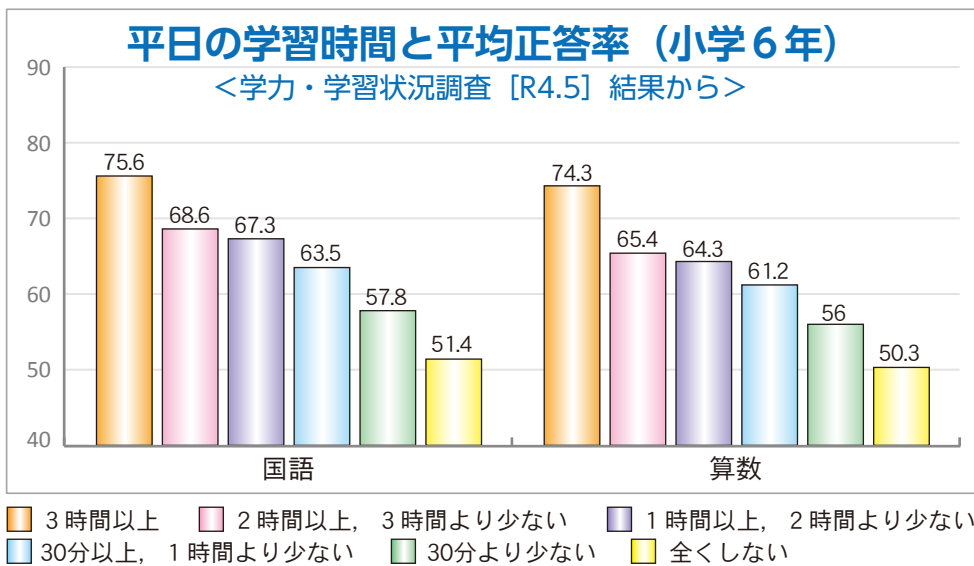
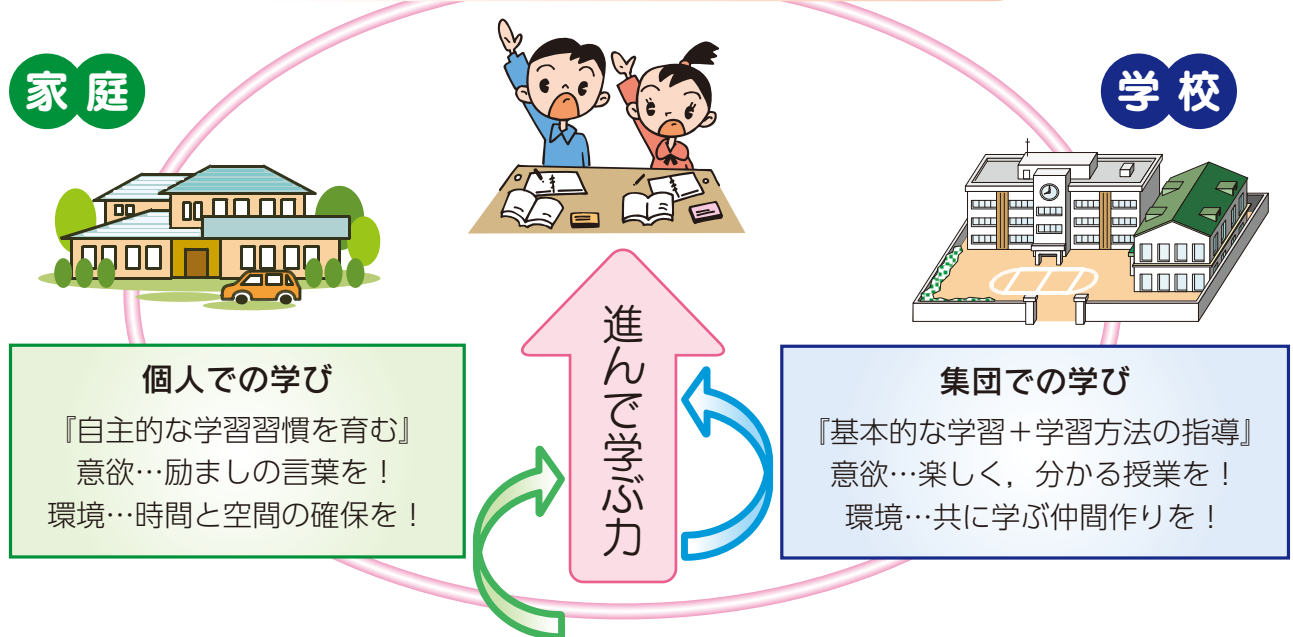
- 新聞記事のスクラップ
(記事を選んでノートにはり、コメントを書く)
- 授業の復習（もう一度ノートにまとめる）
- 生き物や植物の観察記録
- 月や星の観察記録
- 事典で調べる
- 図鑑で調べる
- 地図で調べる
- ドリルをする
- 県名、県庁所在地、国名を書いて覚える
- 歴史上の人物や出来事について調べる
- 理科の実験の手順をまとめる



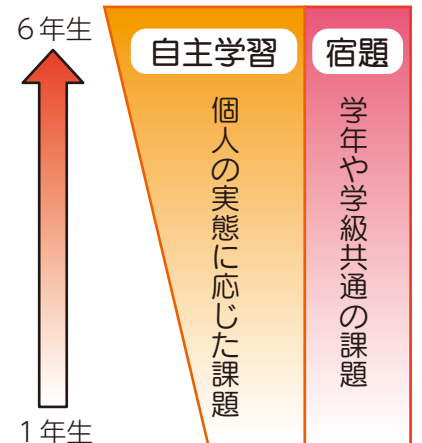
家庭と学校とが協力し合って 子供の『学ぶ力』を育てましょう

- ◎ この「家庭学習の手引き」は、学校と、お子さん自身やご家族の指針となるものとして作成しました。
- ◎ 各学校では、これをもとに実態に合わせた指導をしていきます。必要に応じて、先生と相談しながら、協力して取り組んでいきましょう。

子供の『学び』を応援する気持ちで！



家庭学習の課題と学年との関係



(睡眠時間8時間確保し、スマホ利用を1時間以内に抑えて) 家庭学習の時間を確保することが学力向上につながっていることが分かります。

学年が上がるにつれて、自主学習の割合を増やしていきます。